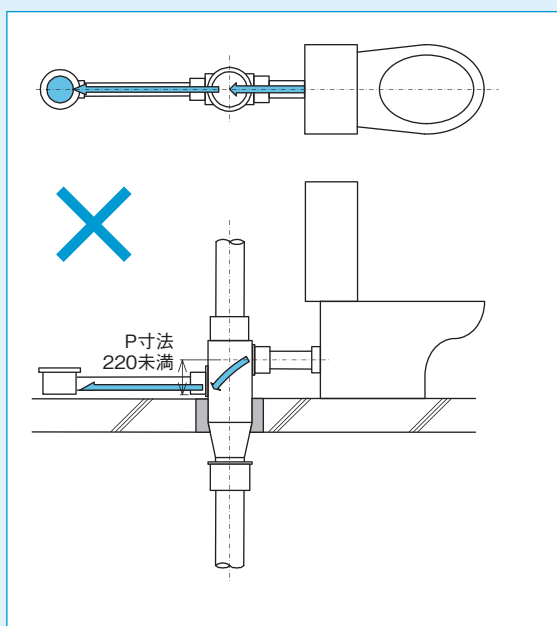
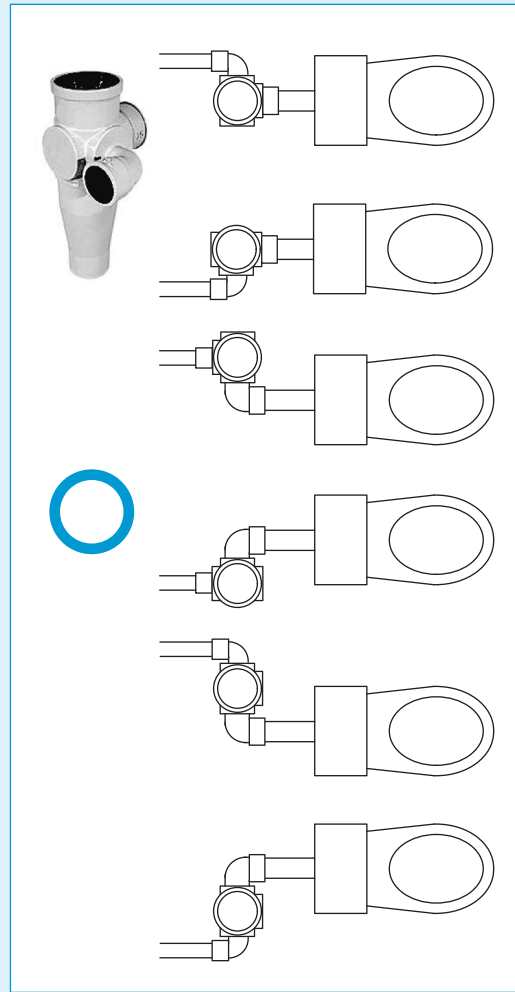
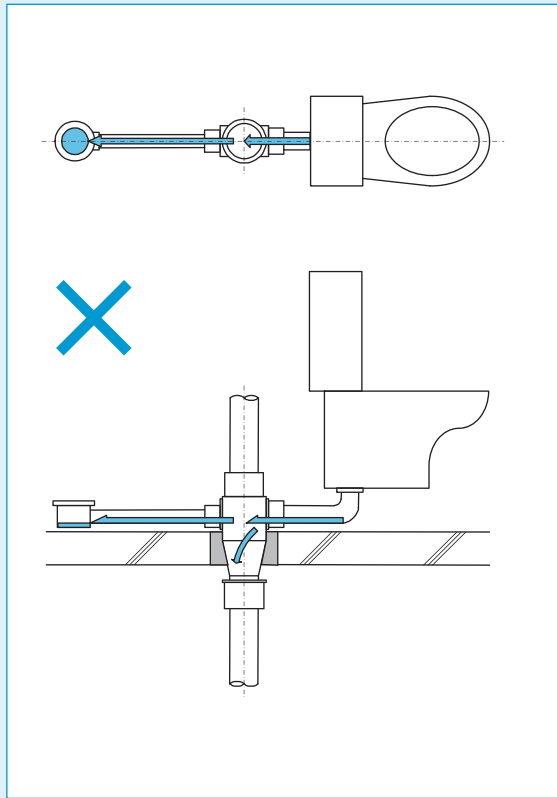


通常枝から「J枝」への変更により、大便器からの排水が対向枝に流入するのを防ぐことができます。

大便器からの排水の勢いが強い場合、対向枝に汚水が流入する場合があります。

どちらか一方（もしくは両方）をJ枝とすることで、対向枝への汚水の流入を防止することができます。



2段枝の集合管で、上下の枝管が対向している場合、P寸法（上枝管芯～下枝管底）が220未満だと、上枝の排水が下枝に流入する場合があります。

上枝をJ枝とすることで、対向枝への排水の流入を防止することができます。

- ※ 下枝をJ枝とすることはできません。
- ※ 4SFにJ枝を取り付けることはできません。

